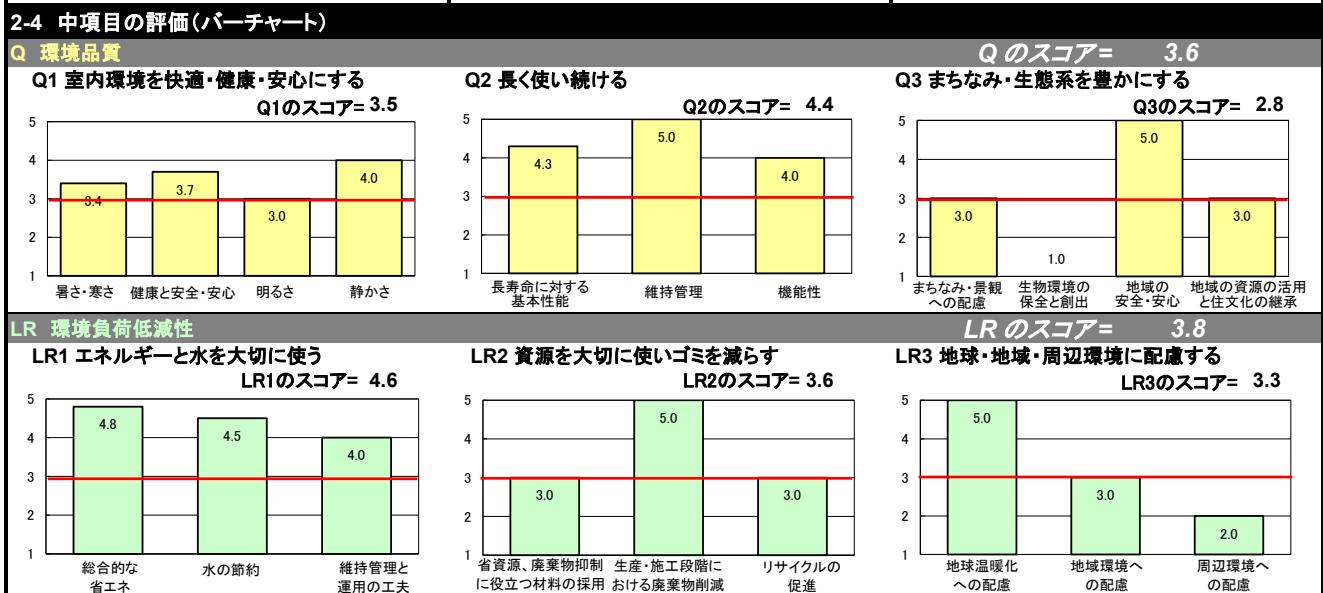
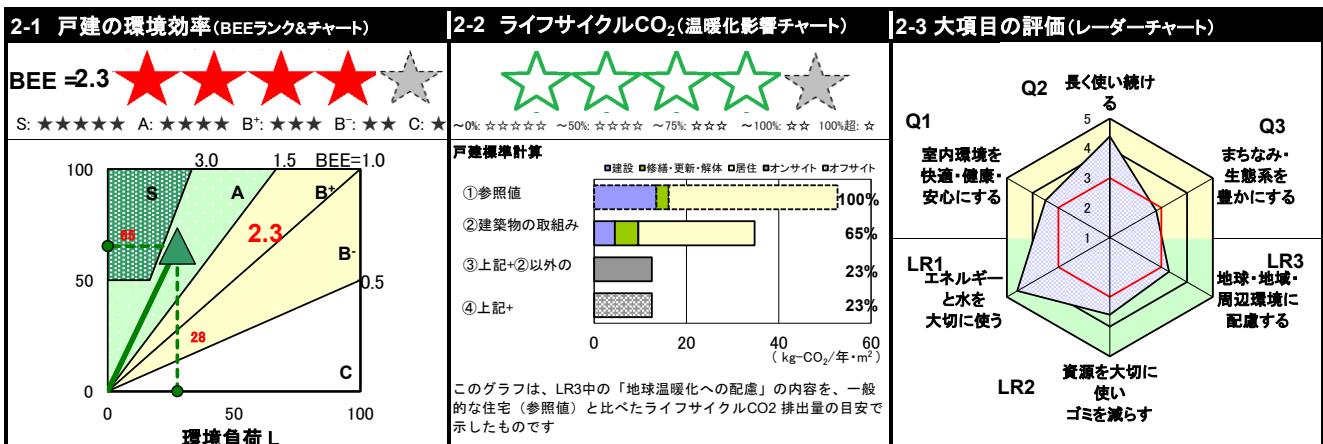




1-1 建物概要		1-2 外観		
建物名称	個人住宅	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2020年10月	持ち込み家電等	確定	確定
建設地	神奈川県横浜市都筑区川和町	外構の仕様	確定	確定
用途地域	第一種居住地域	<備考>		
省エネルギー地域区分	6 地域			
構造・構法	鉄骨	評価の実施日	2020年6月15日	
階数	地上2F	作成者	田中 梨恵	
敷地面積	332 m ²	確認日	2020年6月15日	
建築面積	107 m ²	確認者	田中 梨恵	
延床面積	172 m ²			
世帯人数	3			



3 設計上の配慮事項		その他	
総合		ZEH支援事業、横浜市ZEH普及促進補助制度	
交通量の多い幹線道路に面しているので、道路からの距離をあける設計とした。			
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする	
ZEH基準を満たす断熱仕様、遮熱断熱複層ガラスの採用などによる冷房負荷の軽減。換気通風・日射調整への配慮。1階及びバルコニーに面する開口部に防犯ガラスの設置。	地盤調査に基づく安全な基礎方式と形状の検討。壁体内通気層及び連続的な断熱区画、防湿シートの設置による躯体の高耐久化。基礎スリット換気により床下の湿気を排出し、劣化の軽減。	シンプルな大屋根とし、ツートンカラーの外装とした。	
LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する	
屋根に4.2kwの太陽光発電装置を設置。照明器具はLED照明を採用し、玄関ホールや廊下はセンサーを採用。キッチン、浴室、洗面台の水栓は節水タイプを採用。	生産段階における廃棄物削減、施工現場における廃棄物の分別およびリサイクル推進に努めている。		



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量

53

%削減



0

誘導基準

一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

適合

受付日

2020年6月16日

■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①屋根に4.2kwの太陽光発電装置を設置。照明器具はLED照明を採用し、玄関ホールや廊下はセンサーを採用。

③HEMSの採用によりエネルギーの見える化を図り、省エネルギーを促す計画としている。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤日本住宅性能表示基準 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)における等級3を満たしている。

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦日本住宅性能表示基準 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)における等級3を満たしている。

⑧日本住宅性能表示基準 劣化対策等級(構造躯体等)における等級3を満たしている。

⑨シンプルな大屋根とし、周辺の建物に調和するように配慮した。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

燃料電池・コジェネレーション・

エネルギー・マネジメントシステム導入

HEMS

—

CASBEE® 横浜[戸建] 評価結果 | 2-033



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)

個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート		重点項目	評価点	重み係数	全点
配慮項目					
Q _H すまいの環境品質			-	-	3.6
Q _{H1} 室内環境を快適・健康・安心にする			-	0.45	3.5
1 暑さ・寒さ			3.4	0.50	3.4
1.1 基本性能			3.8	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	④暑さ・寒さ	4.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	④暑さ・寒さ	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ			3.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす			3.0	0.50	-
2 適切な冷房計画			3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ			3.0	0.25	-
1 適切な暖房計画			3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心			3.7	0.30	3.7
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑤健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防 災	⑦災害に備える	4.0	0.25	-
3 明るさ			3.0	0.10	3.0
3.1 曜光の利用			3.0	1.00	-
4 静かさ			4.0	0.10	4.0
Q _{H2} 長く使い続ける			-	0.30	4.4
1 長寿命に対する基本性能			4.3	0.50	4.3
1.1 車体	防 災	⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材			3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根			3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防 災	⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える			3.7	0.20	-
1 火災に耐える構造			3.0	0.65	-
2 火災の早期感知			5.0	0.35	-
2 維持管理			5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ			5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制			5.0	0.35	-
3 機能性			4.0	0.25	4.0
3.1 広さと間取り			5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応			3.0	0.50	-
Q _{H3} まちなみ・生態系を豊かにする			-	0.25	2.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑩まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出			1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	⑪生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	⑪生物環境の創出	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防 災	⑨地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承			3.0	0.20	3.0
LR _H すまいの環境負荷低減性			-	-	3.8
LR _{H1} エネルギーと水を大切に使う			-	0.35	4.6
1 総合的な省エネ			4.8	0.75	4.8
1.1 車体と設備による省エネ	省エネルギー性能	①建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	②設備の性能	3.0	0.10	-
2 水の節約			4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備			5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用			3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫			4.0	0.10	4.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	③維持管理と運用	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	③維持管理と運用	5.0	0.50	-
LR _{H2} 資源を大切に使いごみを減らす			-	0.35	3.6
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用			3.0	0.60	3.0
1.1 構造躯体			3.0	0.30	-
1 木質系住宅			3.0	-	-
2 鉄骨系住宅			3.0	1.00	-
3 コンクリート系住宅			3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎			3.0	0.20	-
1.3 外装材			3.0	0.20	-
1.4 内装材			3.0	0.20	-
1.5 外構材			3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減			5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)			5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)			5.0	0.33	-
2.3 施工段階			5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進			3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供			3.0	1.00	-
LR _{H3} 地球・地域・周辺環境に配慮する			-	0.30	3.3
1 地球温暖化への配慮			5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制			2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全			4.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮			2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減			1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善			3.0	0.50	-